

次代の教育セミナーのご案内

「アクティブラーニング（能動的学習）の実際」公開講座

～ 「授業改革」時代が求める教育を実現するために ～

日本の授業は先生が一方的に講義する教え込み型が中心です。しかしこの方式が生徒の理解・納得を得られているかは疑問です。これに対し、欧米では先生と生徒が対話を通して学ぶ交流型の学習が主流となっています。この交流型学習の代表的なものが「アクティブラーニング」です。このアクティブラーニングはアメリカで誕生したのですが、日本でも小学校から大学までジワジワと浸透してきました。今回は、このアクティブラーニングの日本の大学での普及状況を研究された河合塾の谷口哲也先生に、概要と大学での実態についてお話しいたします。次に高校の現場で実践し、大きな実績をあげている埼玉県立越ヶ谷高等学校の小林 昭文先生に登壇していただき、参加者の皆様がアクティブラーニングを実際に体験する授業を展開します。

日時：2011年7月31日(日) 13:00～16:30

会場：日本教育大学院大学 2F講義室 (定員数:100名)
(東京メトロ有楽町線麹町駅5番出口より徒歩3分)

講師：小林昭文(埼玉県立越ヶ谷高等学校 教諭(物理))
大学物理科を卒業後、しばらく空手のプロとして生活し、埼玉県立高校の教員になってから、カウンセリング、コミュニケーション教育、キャリア教育等を学ぶ。キャリア教育で楽しく学ぶ生徒たちをみて、「物理の授業もこんな風にしたい」と考えて工夫し始め、2007から現在の形の授業を、「ほぼすべての時間」に実施している。また、同校の「授業研究委員会」のメンバーとして校内の授業研究の活性化に取り組み、「授業者を傷つけない振り返り法」「見に来てくださいカード」などを発案し、効果を上げている。

講師：谷口哲也(学校法人河合塾 教育研究部統括チーフ)
九州大学教育学部卒業後、学校法人河合塾に入社。河合塾の予備校部門で塾生の進路指導をしながら、テキスト・模試の編集に従事。その後、情報誌「Guideline(高校の先生対象)」「栄冠めざして(受験生対象)」の編集や大学教職員を対象とした講演や学生募集・大学改革のコンサルティングを通じ、大学情報の収集・提供を行う。2005年より、偏差値とは異なる大学選びの指標として、大学教育力の評価調査に取り組む。著書に、河合塾編・著「初年次教育でなぜ学生が成長するのか」(2010東信堂)、「アクティブラーニングでなぜ学生が成長するのか」(2011東信堂)他多数。

公開講座スケジュール

司会進行：	高橋 誠(次代の教育を共に拓く会 理事長・日本教育大学院大学 教授)
13:00～13:10 主催者挨拶：	大槻 卓(日本教育大学院大学 常務理事)
13:10～14:10 基調講演：	「アクティブラーニングの概要と展開 - 日本の大学での普及状況は - 」 谷口 哲也(学校法人河合塾教育研究部統括チーフ)
14:10～15:30 講演・演習：	「アクティブラーニング授業の実際 - 高校物理の授業体験 - 」 小林 昭文(埼玉県立越ヶ谷高等学校教諭 授業研究委員) <休憩10分>
15:40～16:20 振り返り・共有化：	竹部 伸一(埼玉県立越ヶ谷高等学校教諭 授業研究委員長)
16:20～16:30 閉会挨拶	高橋 誠 プログラムは予告なく変更することがありますのでご了承ください。

主催：一般社団法人 次代の教育を共に拓く会、日本教育大学院大学

協賛：(株)市進ホールディングス、(株)ウィザス、(株)栄光、(株)進学会、(株)増進会出版社 (50音順)

お申込み：「参加お申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。 **FAX : 03-3235-7810**

参加費用：2,000円(下記口座にお振込みください。振込み手数料はご負担いただきますようお願いいたします。)

[みずほ銀行 飯田橋支店 普通口座 2533792 次代の教育を共に拓く会]


参加登録票：振込みが確認でき次第、FAXにてお送りいたします。 **必ず下記にFAX番号をお書きください。**

お申込み締切： **7月25日(月)** 定員になり次第、受付終了とさせていただきますことをご了承ください。

お問い合わせ：次代の教育を共に拓く会 事務局

〒162-0837 東京都新宿区納戸町27-2-105 TEL 03-3235-7812 担当:草野

「アクティブラーニング(能動的学習)の実際」公開講座 参加お申込書

ご所属	何でお知りになりましたか? で囲んでください。	協会HP	ネット記事	新聞	知人
フリガナ	フリガナ				
御芳名	御芳名	役職()	役職()		
TEL	FAX 				
連絡先 E-mail	参加者が3名以上の場合、コピーしてお使いください。				